

**2019年3月期 第1四半期**

**決算説明資料**

**2018年8月2日**

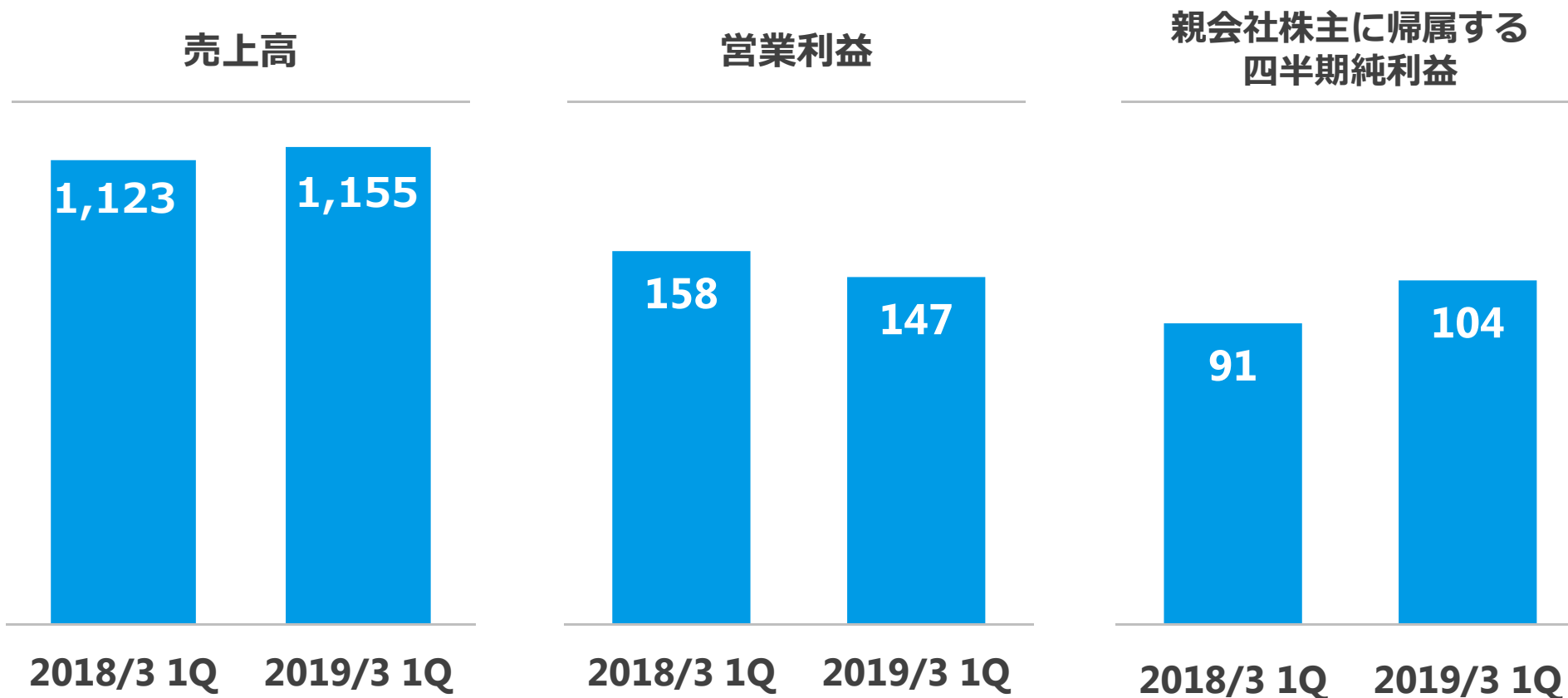
**株式会社ダイセル**

## 目次

<b>1. 2019年3月期 第1四半期 業績</b>	<b>P. 3</b>
<b>2. セグメント情報</b>	<b>P. 6</b>
<b>3. 参考資料</b>	<b>P. 10</b>

## 決算ハイライト

(単位：億円)



- 有機合成や合成樹脂などの販売数量の増加や、販売価格改定などにより、増収。
- 原燃料価格の上昇やたばこフィルター用トウの市況軟化、インフレータの販売品種構成の変化などにより、減益。


**連結損益計算書**

(単位：億円)

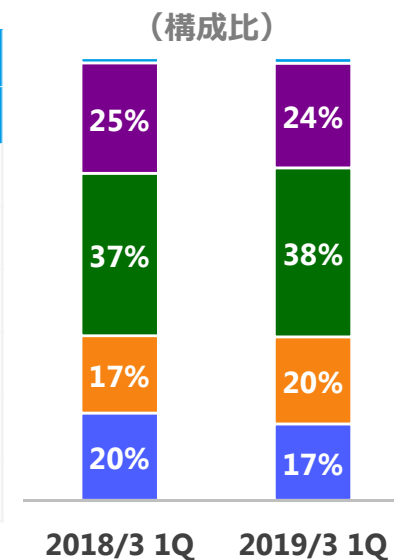
	2018年 3月期 1Q	2019年 3月期 1Q	増減	増減率 (%)
売上高	1,123	1,155	+32	+2.9%
営業利益	158	147	△10	△6.6%
営業外損益	8	19	+11	+129.2%
経常利益	166	166	+0	+0.3%
特別損益	△2	△1	+1	+66.9%
税金等調整前四半期純利益	164	166	+2	+0.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	91	104	+13	+14.3%
為替レート (USD/JPY)	111	109		

## セグメント別 売上高・営業利益

(単位：億円)

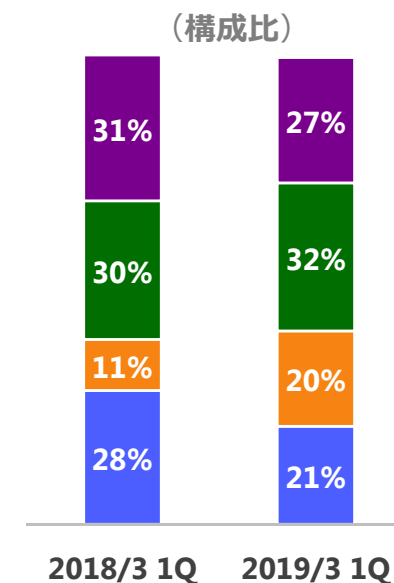
売上高	2018年 3月期 1Q	2019年 3月期 1Q	増減	増減率	分析	
					数量差	単価差
セルロース	221	199	△22	△10.1%	△13	△9
有機合成	196	227	+31	+15.9%	+9	+22
合成樹脂	412	441	+30	+7.2%	+20	+10
火工品	280	273	△7	△2.5%	△10	+2
その他	13	14	+1	+7.7%	+1	
合計	1,123	1,155	+32	+2.9%	+7	+26※1

※1 為替影響 △12を含む。



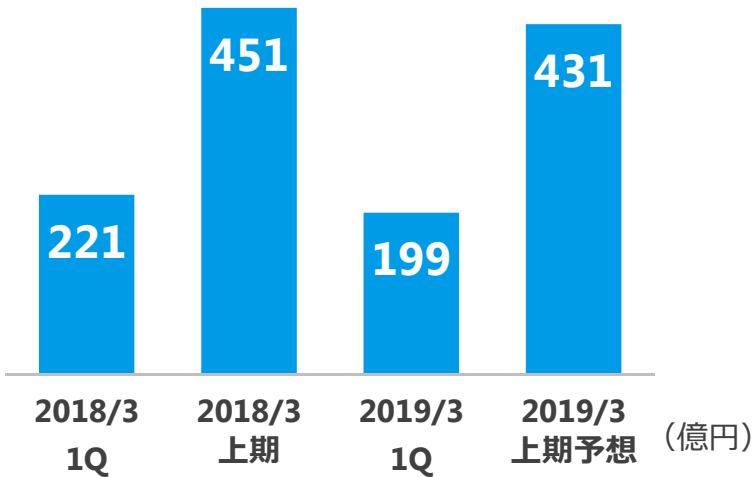
営業利益	2018年 3月期 1Q	2019年 3月期 1Q	増減	増減率	分析		
					数量影響	価格影響	その他
セルロース	55	39	△16	△29.1%	△2	△13	△1
有機合成	21	38	+17	+81.0%	+8	+14	△5
合成樹脂	57	59	+2	+3.1%	+3	△3	+2
火工品	60	50	△10	△17.4%	△11	△1	+1
その他	0	1	+1	+404.3%	+1	0	0
全社	△36	△40	△4	△10.4%	0	0	△4
合計	158	147	△10	△6.6%	△1	△3※2	△6

※2 為替影響 △4を含む。

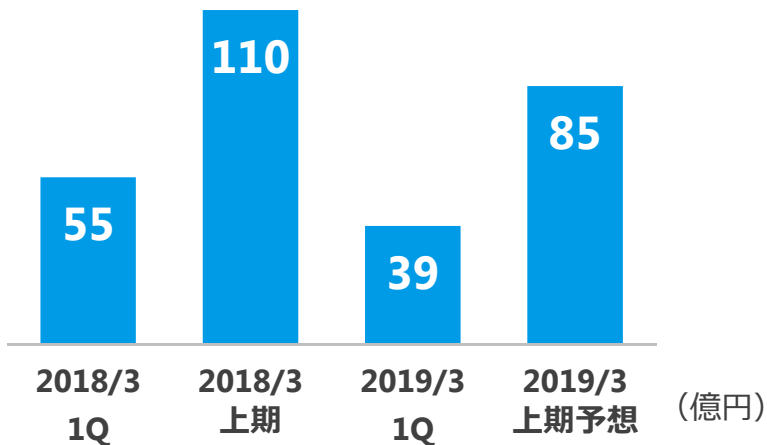


# セルロース

## 売上高



## 営業利益



**売上高** △22 億円 (為替影響 △3 億円)

(酢酸セルロース：減収)

- 液晶表示向けフィルム用途の販売数量が減少
- (たばこフィルター用トウ：減収)
- 市況軟化の影響
- 一部販売時期ずれにより販売数量が減少

**営業利益** △16 億円

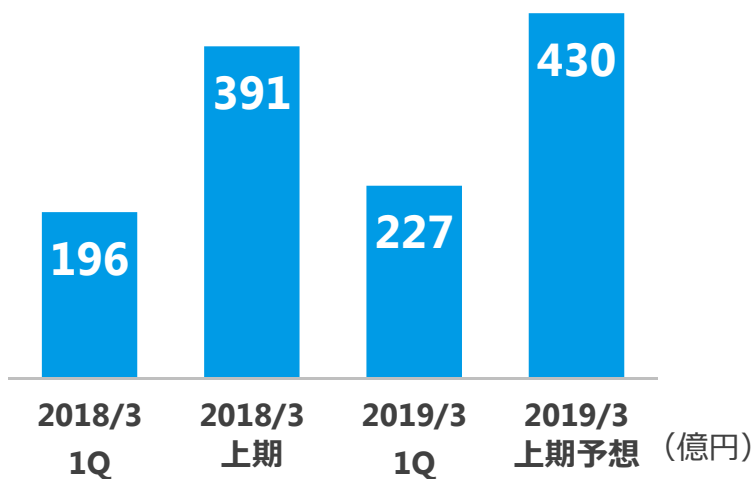
- 原燃料価格の上昇や市況軟化の影響などにより、減益

※上期予想は2018年5月10日発表値を見直しておりません。

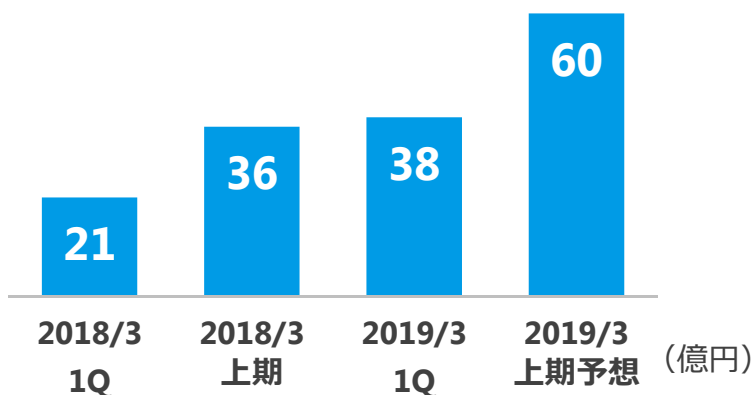
# 有機合成



## 売上高



## 営業利益



**売上高 +31 億円 (為替影響 △1 億円)**

(酢酸：増収)

- 需要が堅調に推移
- 市況が上昇

(合成品：増収)

- 原燃料価格の上昇に伴う販売価格改定を実施

(機能品：増収)

- 一部製品の販売数量が減少
- 原燃料価格の上昇に伴う販売価格改定を実施
- コスメ・ヘルスケア分野の需要が堅調に推移

(キラル分離事業：増収)

- カラムや充填剤の販売が増加
- インドでの新規事業が成長

**営業利益 +17 億円**

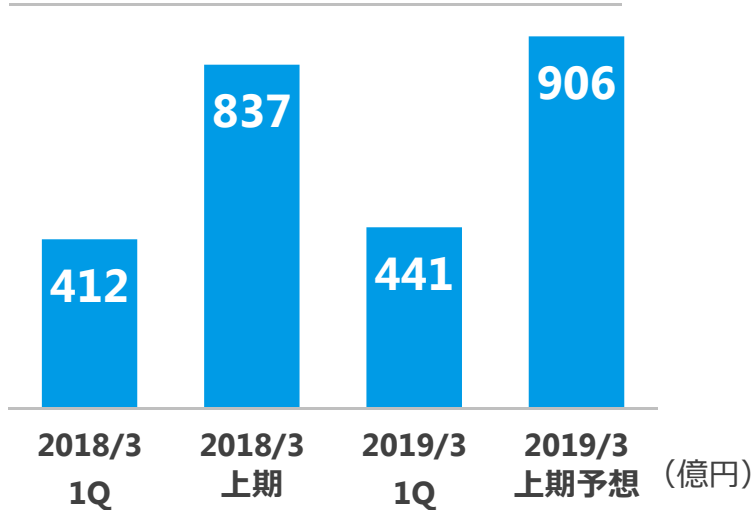
- 販売数量の増加や原燃料価格の上昇に伴う販売価格の改定の影響などにより、増益

※上期予想は2018年5月10日発表値を見直しておりません。

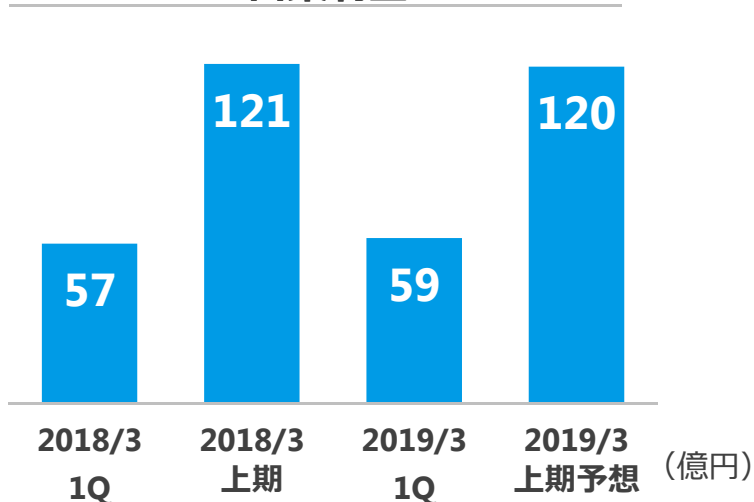
# 合成樹脂



売上高



営業利益



■ **売上高 +30 億円 (為替影響 △5 億円)**

(エンジニアリングプラスチック事業：増収)

- 自動車部品の需要増加や新規採用が進んだことにより販売数量が増加
- 原燃料価格上昇に伴う販売価格改定を実施

(樹脂コンパウンド事業：増収)

- 海外拠点での販売数量が減少
- 国内向けの販売数量が増加
- 原燃料価格上昇に伴う販売価格改定を実施

(樹脂加工事業：増収)

- フィルムの販売が増加

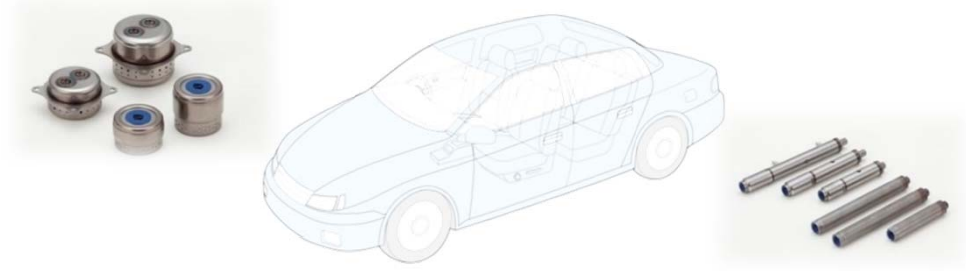
■ **営業利益 +2 億円**

- 原燃料価格上昇の影響があったものの、販売価格の改定や販売数量の増加などにより、増益

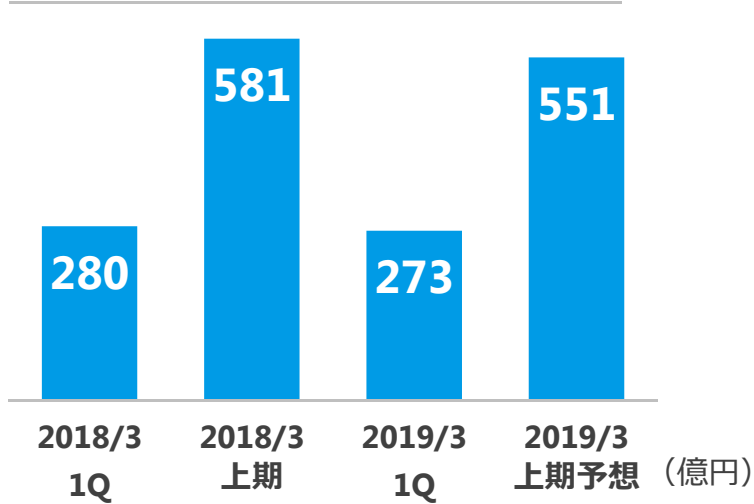
※上期予想は2018年5月10日発表値を見直しておりません。



# 火工品



## 売上高



■ **売上高** △7 億円 (為替影響 △3 億円)

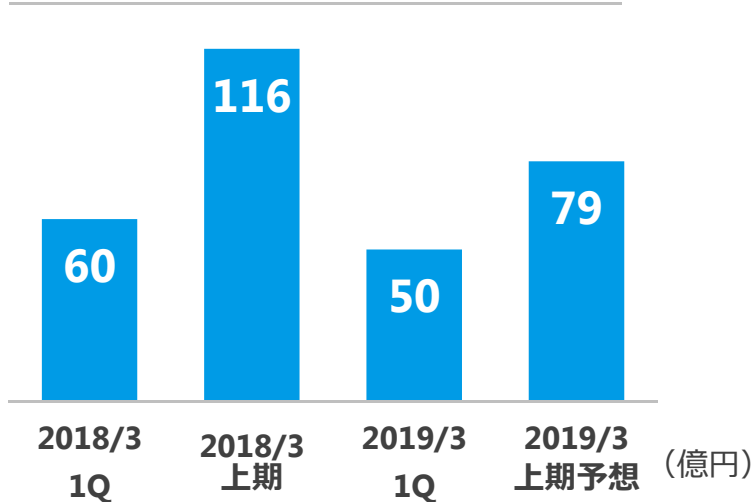
(自動車安全部品事業：横這い)

- インフレータの販売数量が増加
- 販売品種構成が変化

(特機事業：減収)

- 一部製品の防衛省による調達数量が減少

## 営業利益



■ **営業利益** △10 億円

- 販売品種構成の変化などにより、減益

※上期予想は2018年5月10日発表値を見直しておりません。

# 参考資料

## 連結貸借対照表

(単位：億円)

		2018年3月末	2018年6月末	増減	備考
<b>流動資産</b>		<b>3,492</b>	<b>3,426</b>	<b>△66</b>	
	現預金及び有価証券	1,293	1,166	△127	
	受取手形及び売掛金	933	938	+5	
	棚卸資産	1,093	1,136	+43	
	その他	174	185	+12	
<b>固定資産</b>		<b>2,911</b>	<b>2,970</b>	<b>+60</b>	
	有形固定資産	1,840	1,919	+79	新規取得+147, 償却△67, 除却△1
	無形固定資産	86	88	+2	
	投資その他資産	984	963	△21	
<b>資産合計</b>		<b>6,403</b>	<b>6,396</b>	<b>△7</b>	
<b>負債</b>		<b>2,267</b>	<b>2,233</b>	<b>△35</b>	
	有利子負債	997	1,006	+9	有利子負債比率 15.7%
	その他	1,270	1,227	△43	
<b>純資産</b>		<b>4,135</b>	<b>4,163</b>	<b>+28</b>	自己資本比率 60.8%
<b>負債純資産 合計</b>		<b>6,403</b>	<b>6,396</b>	<b>△7</b>	

※2018年3月末の金額は税効果会計基準変更に伴い発表時の金額から組み替えております。

## 通期業績予想

※2018年5月10日発表値を見直しておりません。

(単位：億円)

		2018年3月期 実績			2019年3月期 予想			年間増減
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	
	セルロース	451	440	891	431	435	866	△25
	有機合成	391	429	820	430	440	870	+50
	合成樹脂	837	845	1,683	906	925	1,831	+148
	火工品	581	591	1,172	551	589	1,140	△32
	その他	30	34	64	32	41	73	+9
売上高		2,290	2,339	4,630	2,350	2,430	4,780	+150
	セルロース	110	83	194	85	70	155	△39
	有機合成	36	43	79	60	60	120	+41
	合成樹脂	122	111	233	120	117	237	+4
	火工品	116	105	222	79	76	155	△67
	その他	3	5	8	3	5	8	+0
	全社	△72	△73	△145	△82	△83	△165	△20
営業利益		315	274	589	265	245	510	△79
経常利益		331	279	611	275	255	530	△81
親会社株主に帰属する当期純利益		196	175	371	190	180	370	△1
(参考) 為替レート USD/JPY		111	111	111	110	110	110	

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

本資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

化学で  
未来を  
変えるの

タ